

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日：2022年7月26日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： シェフィールド大学 現地言語： The University of Sheffield
留学期間	2021年9月～2022年6月
留学した時の学年	3年生（渡航した時の学年）
留学先での学年	年生（留学先大学で在籍した学年）
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年7月9日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期：9月中旬～2月上旬 2学期：2月中旬～6月中旬 3学期：なし 4学期：なし (記入例/1学期：4月上旬～7月下旬, 2学期：9月中旬～2月上旬)
学生数	30,129人
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨 (£)	円	備考
授業料	£0	0円	大学間協定留学のため
宿舍費	£5,944.68	949,380円	
食費	£1,856.5	296,483円	
図書費	£0	0円	
学用品費	£0	0円	
携帯・インターネット費	£100	15,947円	£10 × 10ヶ月
現地交通費	£542.78	86,682円	市内のバス/トラム、他都市への電車代 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	£2,848.95	454,977円	国内/ヨーロッパ旅行、パーティー参加費等
被服費	£226.39	36,155円	
医療費	£0	0円	保険適用のため
保険費	£1,192.03	190,368円	形態：東京海上日動火災保険¥116,895+ IHS¥73,473
渡航旅費	£1,298.3	207,340円	
ビザ申請費	£547.28	87,401円	学生ビザ¥54,401 + 優先サービス ¥33,000
雑費	£209.83	38,461円	洗濯代、洗面用品、調理器具、ゴミ袋、お土産等
その他	£184.09	29,400円	IELTS受験費(VISA申請のため)
その他	£341	54,172円	PCR検査費(渡航前1回+入国後隔離期間 中3回+帰国前1回)
合計	£15,291.83	2,446,766円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地：羽田空港 目的地：マンチェスター空港 経由地：ロンドン・ヒースロー空港 復路 出発地：マンチェスター空港 目的地：成田空港 経由地：ヘルシンキ空港
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社：Japan Airlines, British Airways 料金：¥207,340 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名： ） <input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：HIS） <input type="checkbox"/> その他（ ）

滞在形態関連

1) 種類（留学中の滞在先）（例：アパート、大学の宿舎など）
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮（寮の名前：Endcliffe） <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数 ）
3) 共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン（ <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可）
4) 住居を探した方法：
大学のホームページで寮の情報を集めて、大学から届いたメールに従い、申請しました。
5) 感想：（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）
Endcliffe / Ranmoor は寮が綺麗で、緑も多く、居心地が良いですが、個人的にはあまりお勧めできません。理由は、Endcliffe / Ranmoor からキャンパスや図書館まで徒歩約 30 分、駅や City centre までは徒歩 40-50 分と、アクセスがあまり良くないからです。また、Endcliffe に住んでいるのは 9 割以上が現地の 1 年生なので、現地の友達を作るには良い機会になるかもしれませんが、パーティーが毎晩のように行われ、深夜の騒音で寝られないことも多かったからです。交換留学で 1 学期間や 1 学年間ほどの滞在であれば、個人的には多少値段が高くても City に近い大学寮(Allen Court や Broad Lane Court 等)のほうが、効率良く学生生活を送られるような気がしました。Endcliffe / Ranmoor と City に近い寮、どちらもメリット/デメリットがあるので、大学のホームページに記載されているそれぞれの寮の特徴や、以前シェフィールド大学に留学された先輩方の体験談/留学報告書などを参考にして決めたら良いと思います。



現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例：現地の病院、学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所：現地の病院)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例：留学先大学の相談窓口、現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等：)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
<p>外務省海外安全ホームページや在英国日本国大使館が出している情報、また、明治大学国際教育事務室のLifeMail サービスからのメールが携帯に届くようになっていたので、それで主に現地の危険情報を把握していました。また、友人から身の回りの危険情報を聞くこともありました。あまりブランド物を持ち歩かないようにしたり、貴重品は必ず肌身離さず持つように意識したりしていたので、私は実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。</p>
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
<p>キャンパスや図書館のwifiは比較的安定していましたが、寮のwifiは時々弱くなったり、途切れたりすることがありました。モバイルデータに関しては、寮の付近はCityと離れているせいか3Gになることが多かったですが、普段歩くようなキャンパスや図書館付近、City centreや駅付近などでは問題なく使うことができました。</p>
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか？(例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
<p>現地での資金調達に関しては、主に日本の銀行口座に繋がっているクレジットカードを使用しました。また、それに加えてRevolutというオンラインの銀行口座を現地で開設し、主に友人同士で送金する際に使用していました。</p>
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
<p>基本的には現地のお店やオンラインショッピングで全て調達できると思いますが、クレジットカードは渡航前しか発行できないので事前に入手した方が良く、医療機関で処方されている特定の薬等があれば持っていった方が良いと思います。</p>
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例：渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
100 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 () ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付して下さい。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English Language and Culture (News Media)	
科目設置学部・研究科	English Language Teaching Centre
履修期間	Autumn Semester
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mr Tim Radnor
授業内容	イギリスの新聞記事やテレビ、ラジオなどのニュースメディアを通して、イギリスの文化や言語に関して理解を深め、知識を向上させる。
試験・課題など	ニュース記事を選んで特徴を分析する1人10分のプレゼンテーションと、自分でニュース記事を書いてその解説をする Written Assignment (約 2,000 words)
感想を自由記入	イギリスに関する問題(移民や政治など)に関して知識を深めながら、イギリスのニュースメディアの特徴を知ることができて面白かったです。毎週の課題がとても多かったり、専門用語など難しい言葉が出てきたりして、大変だと思いつきもありますが、多国籍な生徒で構成されている少人数クラスだったので、意見を交換する機会が多く、多角的にニュースを分析することができて楽しかったです。



履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Understanding University Culture through Language	
科目設置学部・研究科	English Learning Teaching Centre
履修期間	Autumn Semester
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Ms Maria Puro
授業内容	多数のメディアを使って、言語的な特徴や使われている情報を分析し、イギリスの大学の文化/特徴を学ぶ。
試験・課題など	世界の大学を2つ以上選択し、それらに関連する情報を集めて大学の特徴を比較/分析するレポート(1,500 words)と、1人10分のプレゼンテーション
感想を自由記入	イギリスの大学の文化(一般的な学生ライフがどんなものか、学校後の過ごし方、大学にとっての留学生の存在意義、大学入試や就職方法、大学のウェブサイトのアピールの仕方など)について学びました。日本とイギリスでは、生徒が大学に求めているもの/生徒が求められているものが全く違うのだと知り、興味深かったです。また、イギリスで大学生活を送る上で、価値観の違いを理解する際にとっても役に立った授業でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English for Academic Purposes (Reading and Writing)	
科目設置学部・研究科	English Learning Teaching Centre
履修期間	Autumn Semester
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Ms Jemima Perry
授業内容	学問やビジネスの場において使うことができるアカデミックな英語力を向上させる。特にリーディングとライティングに焦点を置き、文章に関連する文法や語彙も学ぶ。
試験・課題など	SDGsの中からトピックを一つ選び、それに関連する論文を多数用いながら、現在取り組まれているいくつかの解決策を研究/評価/討論する Essay(1,500 words)
感想を自由記入	いわゆる固い英語を学ぶ授業で、エッセイやビジネスの場で使用できる表現、エッセイを書く際の正しい参考文献の書き方などを学びました。授業名はReading and Writingとなっていますが、実際はWritingとSpeakingに近く、少人数のクラスなのでアウトプットの機会が非常に多かったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English as a Foreign Language	
科目設置学部・研究科	English Learning Teaching Centre
履修期間	Autumn Semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Ms Jemima Perry
授業内容	イギリスの文化や社会をより良く理解すると同時に、英語における4技能を総合的に向上させる。
試験・課題など	与えられたテーマに関して15分討論するグループディスカッションと、ビジネスの場面におけるメールの書き方、Essay (1,000 words)
感想を自由記入	イギリスの文化や社会について理解を深めながら、4技能をバランス良く伸ばしてくれる授業でした。6人という少ないクラスだったので、発言の機会も多かったですし、毎授業の先生のフィードバックが非常に手厚く、この授業で特にスピーキング力がとても上がりました。先生や生徒との距離が近く、アットホームな雰囲気での授業でした。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Child Psychology	
科目設置学部・研究科	Education Department
履修期間	Spring Semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr Lauren Powell, Dr Anna Weighall
授業内容	幼少期における心理学と教育政策の関係
試験・課題など	Essay (2,000 words)
感想を自由記入	明治大学の国際日本学部で学んでいた内容と少し被る部分があったので、その知識を応用して楽しく学ぶことができました。幼少期の心や言語の発達と、教育政策や心理学、周囲の環境との関係性に関して、データや映像などを使って学ぶことも多かったので比較的わかりやすい授業でした。この授業は、教育学部1年生の必修授業で、200人以上いる大人数のクラスでしたが、毎時間周囲の人と話し合って意見を発表する機会があり、面白かったです。



履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English Academic Purposes (Speaking and Listening)	
科目設置学部・研究科	English Learning Teaching Centre
履修期間	Spring Semester
単位数	10
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Mr Robert Jackson
授業内容	講義やメディアの情報を聞きとるといったリスニングと、プレゼンテーションやディスカッションといったスピーキングに焦点を置き、アカデミックな英語力を向上させる。
試験・課題など	1人10分のプレゼンテーションと、30分間のグループディスカッション
感想を自由記入	シラバスにはアカデミックな英語力の向上と書いてありますが、実際はフォーマルとインフォーマルな英語、半々くらいで、ネイティブが使う表現を学ぶ授業でした。生徒数が十数人と少なめだったので、話す機会が非常に多く、この授業でもスピーキング力がかなり上がったと思います。活発な生徒が多かったですし、先生も含めて仲が良いクラスだったので、授業中も授業外の時間もとても楽しかったです。

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
English as a Foreign Language (Upper-Intermediate 2)	
科目設置学部・研究科	English Learning Teaching Centre
履修期間	Spring Semester
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義とセミナーの混合（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Ms Jemima Perry
授業内容	イギリスの文化や社会をより良く理解すると同時に、英語における4技能を総合的に向上させる。
試験・課題など	与えられたテーマに関して20分討論するグループディスカッションとEssay(1,000 words)、小説の一部を書くShort Story(500 words)
感想を自由記入	この授業は前期に履修したEnglish as a Foreign Languageの後期バージョンで、元々こちらではなく、教育学部から授業を取るつもりでしたが、前期受けてみて非常に感触が良かったため、後期も継続して履修することにしました。前期の時と同じく、発言の機会も多かったですし、先生からの手厚いフィードバックで、4技能(特にスピーキング)を伸ばすことができました。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）

就職 進学 未定 その他：

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

（例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

元々この留学は中止になる予定だったので、日本で就職活動をしていましたが、急遽渡航できることになり、中断している状態でした。渡航後も、オンラインや現地のイベント等で就職活動を継続しようか迷いましたが、時間をかけて慎重に選びたかったことと、留学と就活がどちらも中途半端になるのを避けたかったことがあり、この一年は留学に専念し、帰国後に就職活動をすることにしました。ただ、身の回りで留学と就活を並行している友人も数人いたので、できないことはないと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	2020年秋出発の留学選考、奨学金応募、派遣先大学決定
	4月～7月	コロナで延期/中止の連絡
	8月～9月	↓
	10月～12月	↓
留学開始年	1月～3月	↓
	4月～7月	渡航許可連絡、IELTS 受験、ワクチン接種(1回目)、寮の確保
	8月～9月	ビザ申請/取得、ワクチン接種(2回目)、航空券購入、渡航
	10月～12月	前期の中間試験
留学/帰国年	1月～3月	前期の期末試験、後期の中間試験、ワクチン接種(3回目)
	4月～7月	後期の期末試験、帰国
	8月～9月	
	10月～12月	



留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がシェフィールド大学を選んだ理由は、大きく2つあります。

1つ目は、世界各国からのエリートと学習できる環境があったからです。シェフィールド大学はラッセル・グループに入っており、イギリス国内でランキングが高く、評判も良い大学です。よって、この大学は優秀な学生が集まっている場所だと思いました。

2つ目は、人脈を広げ、交流を楽しむ環境が整っていると思ったからです。シェフィールド大学は、学生連合がイギリスで一番活発という意味で「No.1 Students' Union」と謳っており、毎日数え切れないくらいのイベントを開催しているほか、300種類以上のサークルや部活動があります。そのため、多くの友達と関わり、キャンパス内外の生活を充実させられる環境が十分にあると思いました。

実際、振り返ってみると、留学前に私がシェフィールド大学に対して抱いていた印象は間違っていないでした。世界各国からの友人とたくさんの思い出ができ、本当に濃くて楽しい一年間を過ごすことができたので、シェフィールド大学を選んで良かったと心の底から思っています。

私は、この留学まで海外に長期滞在した経験がなかったため、最初は楽しみよりも不安が大きく、どんどん出てくるカルチャーショックに圧倒されて精神的に辛くなり、落ち込む日々もありました。しかし、思いや気づいたことを毎日日記に書き留めて、心や生活に余裕が出てくると、日本とイギリスの違いが面白くなってきて、「もっと知りたい」「もっといろんな経験がしたい」と思うようになりました。また、徐々に日本や自分を客観的に見られるようになり、日本の現状や将来の自分について考えさせられる機会が多くなりました。

また、「留学のチャンスを無駄にしたくない」という想いから、目にしたイベントはとことん参加したり、ご飯でもパーティーでも誘われたものは何でも行ってみたりして、帰国する頃には、やり残したことはないと感じるほど、たくさんのかげがえのない思い出ができました。慣れない環境で自分なりに色々挑戦してみた分、壁にぶつかって辛いと感じることも多かったです。今写真や日記を見返すと、うるっときてしまうくらい、本当にキラキラした夢みtainな日々でした。

こんな貴重な経験をさせてくれた周囲に感謝の気持ちでいっぱいですし、社会人になる前のこの段階で広い世界や価値観に触れることができ本当に良かったです。留学中に築いた交友関係や経験は、そこできできないもので、一生の宝物になります！

一人でも多くの方が、このチャンスを掴めるように応援しています！

